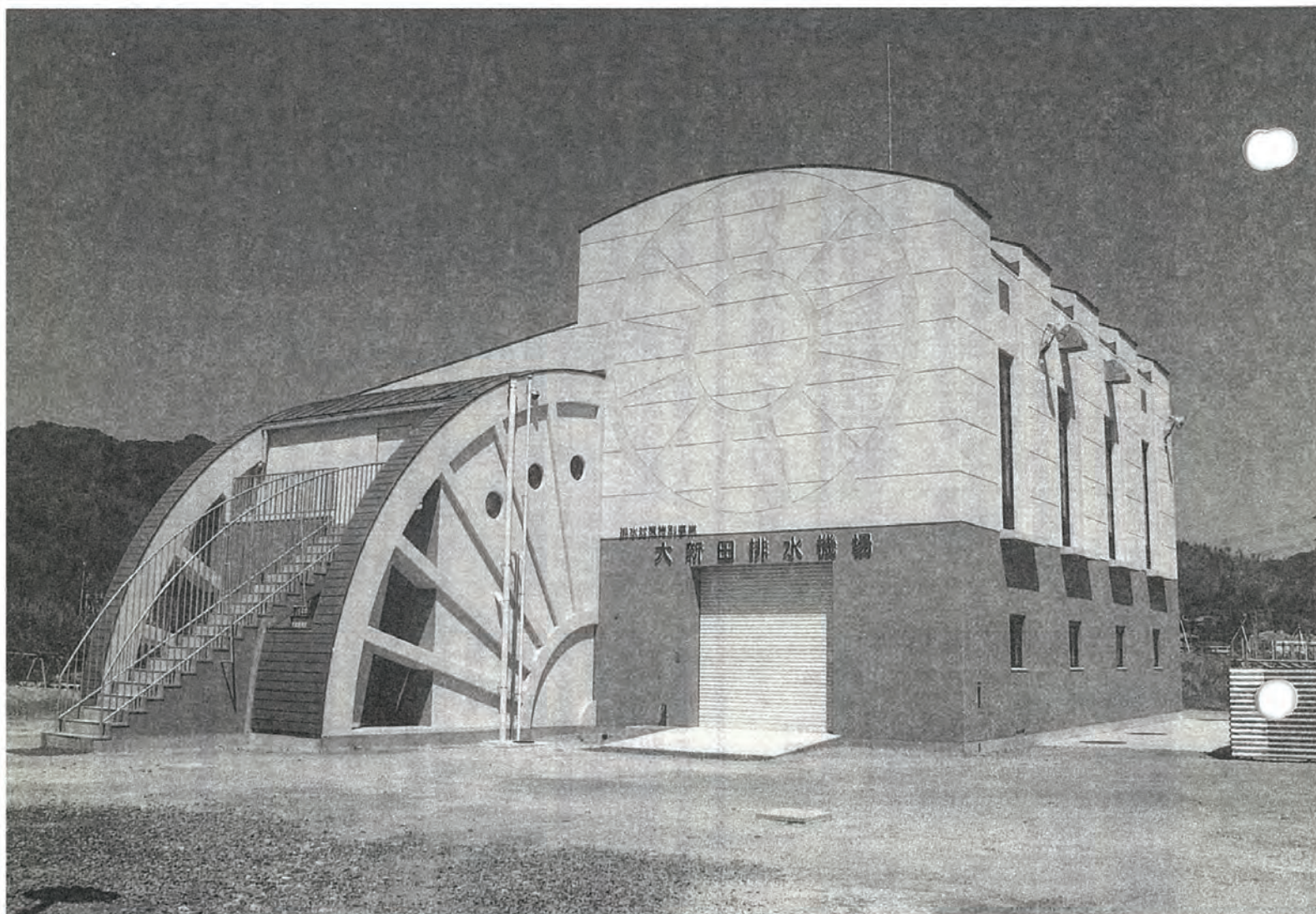


広報 **まご**

第227号
平成6年度
予算特集号



大新田地区の排水対策として工事が進められ、今年度後期に稼働予定のポンプ場。

住んで幸せを感じるまちづくりに
予算総額80億円を投入

町長の施政方針



佐々町長 清原 恵一郎

我が国の社会情勢は、21世紀を間近に控え、様々な面で急激に大きく変貌しようとしています。

また、経済はなお調整過程にあり、景気は依然厳しい状況が続いて、民間企業設備、耐久消費財等のストック調整が長期化する一方、雇用情勢

にも厳しさが見られることに加え、内外経済環境の変化が

経済の中期的な不透明感を生み出し、民間部門の心理を大きく萎縮させています。しか

しながら、これまでの累次にわたる経済対策の効果もあつ

て、住宅建設や公共投資が経済活動を下支えしている中、

民間部門でも種々の調整が進

展しつつあるほか、一部には創造的な事業展開を積極的

に図る動きも見られます。

国としては、こうした景気回復への芽を膨らませ、我が

国経済を六年度中の出来るだ

け早い時期に本格的な回復軌道に乗せ、七年度以降の安定

成長を確実なものにするにと

もに、本格的な高齢化社会の到来への対応など中長期的課

題にも取り組んでいくため、来年度末までの間に可能な限

り有効な施策を展開していくことが重要であるとの認識の

もと、今般、15兆円を上回る史上最大の規模の総合的な経

済対策を講ずることになりました。

こうした状況にあつて、本町の平成六年度の町財政運営

も国と同様に厳しいものがあり

ますが、町民の皆様がしみじみと住んで幸せを感じる質

の高い生活の実現を目指すた

めに、創意と工夫により、時

代の要請に応えるべく、事業の推進を図るとともに、高齢

化時代の福祉対策に対応でき

るよう諸施策を推進し、「明るく健康でうるおいと活力に

満ちた町づくり」並びに基本構想の中の「田舎の良さと都

会の利便を兼ね備えた、美しく・楽しく・たくましくまい

づくり」に取り組んでまいります。当面の緊急課題であり

ます在宅福祉の拠点となる総合福祉センター、特別養護老

人ホーム等の早期完成、また、ボランティア活動の中心

である社会福祉協議会の充実強化により、各種在宅福祉の

充実を図る所存であります。また、本町の都市環境づく

りが進展して行くこともあつ

て、本町に対する近隣各地よりの住宅の需要が高まってお

りますので、今後は住宅用地及び住宅の供給等緊急な施策

会計別予算

単位：千円

一 般 会 計	5,000,000千円	
特 別 会 計	国民健康保険	660,613千円
	診療所	143,963千円
	老人保健	905,232千円
	工場団地造成事業	18,500千円
	水道事業	299,231千円
	公共下水道事業	920,223千円
	土地取得	56,500千円
総 額	8,004,262千円	

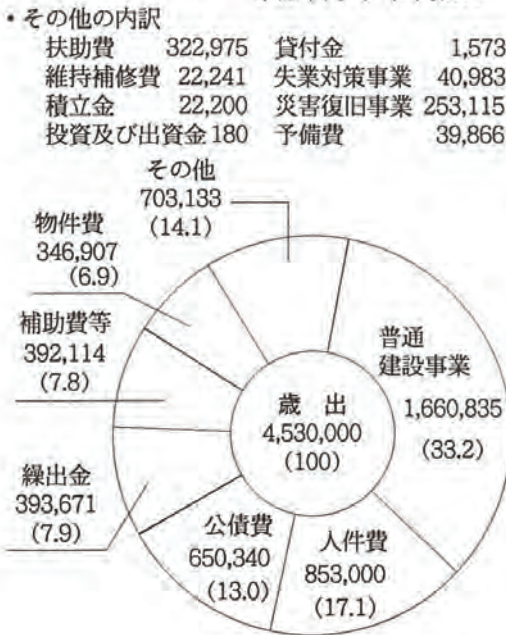
町税収入は八億三千万円余り

平成六年度の当初予算案を審議する三月定例議会が九日から二十五日まで開かれ、総額五十億円の一般会計予算などが原案どおり可決されました。

まず一般会計の歳入を見てみると、総額五十億円のうち町税八億三千八百九十九万九千九百六十六円(十六・六%)、地方交付税十九億三千六百六十九万三千八百七十七円(三十八・七%)、町債八億九千八百四十万五千円(十一・七%)、国県支出金五億八千五百八十六万五千円(七・三%)、繰入金一億八千八百三十五万四千円(三・八%)、その他五億六千五百二十六万二千円(十一・二%)となっています。

性質別歳出状況

単位千円()内は%



り、限られた財源の重点的かつ効率的な配分に徹し、財政の健全性の確保及び住民福祉の向上に努めるよう予算編成を行いました。

今後とも町民皆様のご支援とご指導、ご協力をお願い申し上げます。

平成六年度の予算編成に当たっては、財政の簡素効率化と、経費の節減合理化を推進し、限られた財源の重点的かつ効率的な配分に徹し、財政の健全性の確保及び住民福祉の向上に努めるよう予算編成を行いました。

一般会計は50億円

歳入歳出予算

歳入

歳出

(単位：千円)

款	項	金額	款	項	金額	
1. 町 税		830,819	1. 議 会 費		103,389	
	1. 町 民 税	384,119		2. 総 務 費	1. 議 会 費	103,389
	2. 固 定 資 産 税	372,114				467,892
	3. 軽 自 動 車 税	14,447			1. 総 務 管 理 費	358,776
	4. 市 町 村 た ば こ 税	59,524			2. 徴 税 費	78,348
5. 特 別 土 地 保 有 税	615	3. 戸 籍 住 民 基 本 台 帳 費			25,696	
2. 地 方 譲 与 税		99,000	4. 選 挙 費		1,641	
	1. 消 費 譲 与 税	50,000	5. 統 計 調 査 費	1,926		
	2. 自 動 車 重 量 譲 与 税	30,000	6. 監 査 委 員 費	1,505		
	3. 地 方 道 路 譲 与 税	19,000	3. 民 生 費		643,619	
3. 利 子 割 交 付 金		20,000		1. 社 会 福 祉 費	413,169	
	1. 利 子 割 交 付 金	20,000		2. 児 童 福 祉 費	230,445	
4. 自 動 車 取 得 税 交 付 金		26,000	3. 災 害 救 助 費	5		
	1. 自 動 車 取 得 税 交 付 金	26,000	4. 衛 生 費		552,438	
5. 地 方 交 付 税		1,936,000		1. 保 健 衛 生 費	150,469	
	1. 地 方 交 付 税	1,936,000		2. 清 掃 費	385,815	
6. 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金		1,500		3. 診 療 所 費	15,000	
	1. 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	1,500	4. 保 健 衛 生 諸 費	1,154		
7. 分 担 金 及 び 負 担 金		223,645	5. 労 働 費		44,602	
	1. 負 担 金	223,645		1. 失 業 対 策 費	83	
8. 使 用 料 及 び 手 数 料		93,025		2. 産 炭 地 域 開 発 就 労 事 業 費	40,900	
	1. 使 用 料	87,029	3. 労 働 諸 費	3,619		
9. 国 庫 支 出 金		426,000	6. 農 林 水 産 業 費		315,222	
	1. 国 庫 負 担 金	247,645		1. 農 業 費	295,075	
	2. 国 庫 補 助 金	170,279		2. 林 業 費	19,567	
10. 県 支 出 金		159,265	3. 水 産 業 費	580		
	1. 県 負 担 金	91,522	7. 商 工 費		284,433	
	2. 県 補 助 金	51,606		1. 商 工 費	284,433	
11. 財 産 取 入		49,036	8. 土 木 費		1,195,471	
	1. 財 産 運 用 取 入	29,342		1. 土 木 管 理 費	59,201	
	2. 財 産 売 払 取 入	19,694		2. 道 路 橋 梁 費	190,659	
12. 寄 附 金		1		3. 河 川 費	11,224	
	1. 寄 附 金	1		4. 港 湾 費	50	
13. 繰 入 金		188,354		5. 都 市 計 画 費	542,205	
	1. 基 金 繰 入 金	185,498	6. 住 宅 費	392,132		
14. 繰 越 金		1	9. 消 防 費		143,858	
	1. 繰 越 金	1		1. 消 防 費	143,858	
15. 諸 取 入		48,354	10. 教 育 費		305,743	
	1. 延 滞 金 加 算 金 及 び 過 料	200		1. 教 育 総 務 費	41,574	
	2. 預 金 利 子	5,900		2. 小 学 校 費	100,118	
	3. 貸 付 金 元 利 取 入	475		3. 中 学 校 費	48,568	
	4. 雑 入	41,778		4. 幼 稚 園 費	25,794	
5. 産 炭 地 域 振 興 臨 時 交 付 金	1	5. 社 会 教 育 費		74,606		
16. 町 債		898,400	6. 保 健 体 育 費	15,083		
	1. 町 債	898,400		253,115		
歳 入 合 計		5,000,000	11. 災 害 復 旧 費		150,000	
				2. 公 共 土 木 施 設 災 害 復 旧 費	103,115	
歳 出 合 計		5,000,000	12. 公 債 費		650,350	
				1. 公 債 費	650,350	
			13. 諸 支 出 金		2	
				1. 普 通 財 産 取 得 費	2	
			14. 予 備 費		39,866	
				1. 予 備 費	39,866	

一般会計歳入歳出予算の内訳

単位：千円（ ）内は%

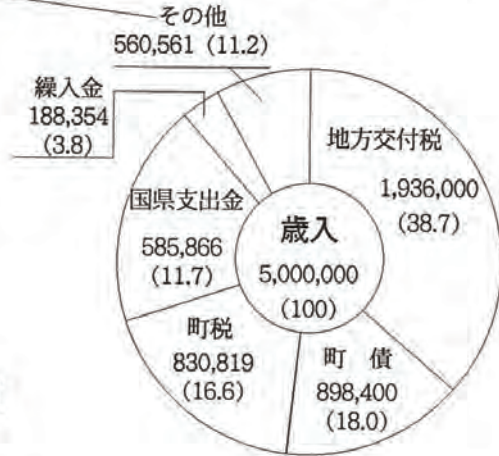
町税の内訳

(単位：千円)

区分	金額
町民税	384,119
固定資産税	372,114
軽自動車税	14,447
市町村たばこ税	59,524
特別土地保有税	615
合計	830,819

その他の内訳

地方譲与税	99,000	交通安全対策特別交付金	1,500
使用料及び手数料	154,098	寄附金	1
分担金及び負担金	24,996	繰越金	1
自動車取得税交付金	26,000	諸収入	185,929
利子割交付金	20,000	財産収入	49,036



町民一人（一世帯）当りの予算額

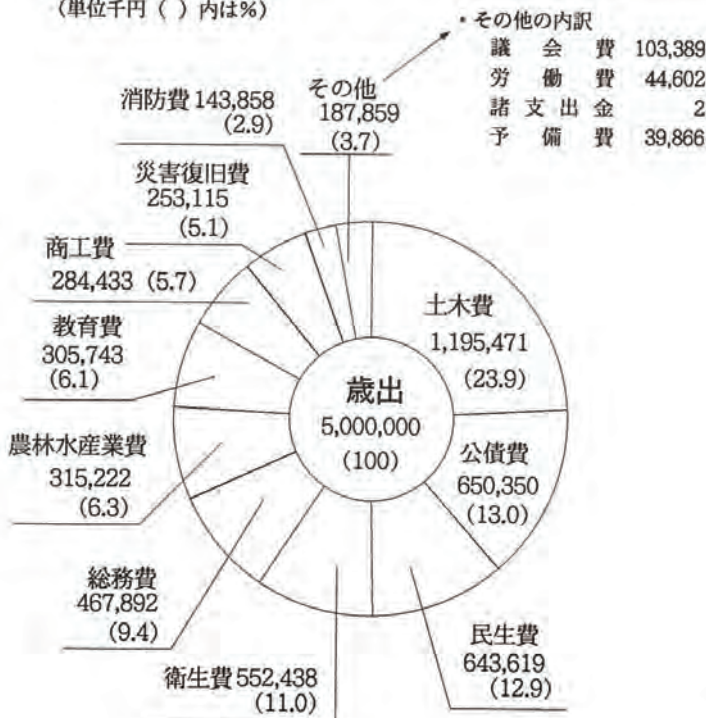
(平成6年4月1日 人口12,598人 世帯数4,022)

負担する町税	1人当り	65,948円	使われるお金	1人当り	396,888円
	1世帯当り	206,569円		1世帯当り	1,243,163円

主な事業

事業名
消防施設等整備事業（消防自動車）
第2次新農政推進特別対策事業
交通安全施設等整備事業
急傾斜地崩壊対策事業
町道真申美渡世越線道路改良事業
小浦都市下水道整備事業
地域住宅計画策定事業
森林整備促進特別対策事業
環境衛生施設整備事業
鉱害復旧事業（農地・溜池）
5年災公共土木施設災害復旧事業
町道真申美渡世越線道路改良事業
総合運動公園整備事業基本計画策定委託
地籍管理事業
総合福祉センター基本設計委託
塵芥処理一部事務組合負担金
平田溜池浚渫工事
農免農道流合地区地元負担金（県営）
農業振興事業補助金
土地改良維持管理適正化事業
水田農業確立排水対策特別事業
森林整備促進特別対策事業
佐々西部自然公園整備事業
中部地区まちづくり事業
町道改良舗装工事
町道維持補修事業
公営住宅改修工事他
公営住宅等建設事業
消火栓・防水水槽バルブ付替工事
佐々小プール法面補修工事
佐々小大規模改造工事
口石小フェンス等改修工事
中学校廊下等床補修工事

(単位千円（ ）内は%)



その他の内訳

議会費	103,389
労働費	44,602
諸支出金	2
予備費	39,866

お金の使われ方

活力ある

まちづくり

―総務―

【一般管理費】
人件費、経常経費について極力節減に努めます。

【企画費】

▼総合運動公園整備事業について、施設メニュー、レイアウトなど全体計画を樹立するための基本計画策定費を計上し、事業の具体的な進め方の検討を行います。

・消防施設等整備事業（消防自動車）	13,000千円
・交通安全施設工事	1,500千円
・総合運動公園整備事業 基本計画策定委託	7,700千円
・電子計算費	39,230千円
・地籍管理事業	4,405千円
・佐々西部自然公園整備事業	230,000千円
・消火栓・防火水槽バルブ付替工事	2,500千円

▼佐世保地方拠点都市地域指定に向けて、本町の整備計画を作成します。

▼住民の自由時間対策及び生涯学習の拠点となる施設として、町立図書館の基本計画を策定します。

▼佐々工場団地への企業誘致活動経費を計上しています。

【ふるさと創生費】

心のふれあう活力あるまちづくり基金の運用益を活用し人材育成、イベント、産業育成の各事業を行います。また平成七年度からの基金の活用方法を検討します。

【電子計算費】

今年度は、「財務会計関連業務」の開発を行い、十一月に平成七年度の「予算編成システム」を本稼働します。開発にあたっては、全庁的な開発体制を整備し『①分かり易いシステムづくり、②事務の簡素・合理化』を図ります。

【統計調査費】

事業所名簿整備他六件の統計調査が実施されますので、その経費を計上しました。

【商工業振興費】

商工業育成のため商工会助成金を五十万円増額し、六百五十万円計上しました。

【祭り費】

祭事業については、春祭り、夏祭りともに曲がり角にきていると思われまますので、観光協会及び各種団体等とともに研究し、佐々らしい祭に佐々川を生かしたものを作り上げたいと考えております。

【佐々西部自然公園整備事業費】

平成二年度から三ヶ年間で「地域づくり事業」で皿山公園一帯を整備し、一応の完成をみましたが、未整備部分もあり、二期工事として「ふるさとづくり事業」で取り組んでいるところであり、本年度は課題であります駐車場用地取得に努力し、用地及び造成費等で二億三千万円を計上しました。

【佐々西部自然公園施設管理費】

公園全体の植栽管理費、各施設の維持管理費、管理人の費用、窯体験施設指導員の費用を計上しております。

【戸籍住民基本台帳費】

町単独電算導入に伴い、法令に基づき、適正な戸籍事務管理に努め、窓口の住民サービス向上に努めます。

【消防費】

常備消防費に広域消防事務負担金一億二百六十六万五千円、非常備消防費では消防設備の年次の整備を図るため、本年度は第三分団の消防自動車購入費を計上しています。

住民に密着した

地域づくりを

―福祉―

【民生費】

これからの社会福祉は「地域」がキーワードであり、住民に密着した地方行政の積極的な取り組みや社会福祉協議会を中心としたボランティア活動の推進による魅力的な地域づくりが求められています。超高齢化社会に向けて、ますます増大、多様化する住民のニーズ及び住民の相談等にも細かく応えていくため、在宅福祉、地域福祉を柱に民生委員、老人会、社会福祉協議会等各種団体と連携を図りながら、「誰もがどこでも的確で質の良いサービスを気軽に受けることができる」ようなサービス供給体制を目指した福祉の町づくりに努めます。

【社会福祉総務費】

一般社会福祉の諸経費は前年度同様に計上。また、昨年度から権限委譲された身体障害者施設入所等の措置事務を行うと共に福祉医療費の支給、身体障害者の日常生活用具給付事業の充実に図り、障害者本人及び家族の経済的、精神的負担の軽減に努めます。

・総合福祉センター基本設計委託	10,000千円
・社会福祉協議会運営費補助金	17,970千円
・民生委員活動費補助金	2,730千円
・福祉医療費	14,203千円
・国民健康保険特別会計繰出金	31,400千円
・敬老年金	9,000千円
・老人センター運営委託料	6,900千円
・デイサービス事業委託料	29,712千円
・ホームヘルパーサービス事業委託料	11,700千円
・老人クラブ助成	1,383千円
・福祉給食サービス事業補助金	2,645千円
・在宅ねたきり老人介護手当	2,580千円
・在宅老人短期保護費助成	2,635千円
・老人保護措置費	195,837千円
・民間保育園委託料	41,689千円

拠点となる総合福祉センター建設のための基本設計委託料を一千万円計上しています。

【国民年金事務費】

今年度は、二十一世紀の高齢化社会を展望した年金支給開始年齢の段階的引き上げ等の制度改正が行われようとしています。昨年十月に取りまとめられた年金審議会の意見書の中にも、高齢社会にふさわしい制度への見直しとして公的年金の一元化への対応や給付と負担のバランス確保をどのように図っていくかが課題として掲げられています。

このような中、強化窓口相談個別訪問等により年金制度のPRに努め、未加入者の加入促進を図ります。

また、保険料の収納率向上のため「国民年金保険料収納特別対策事業」を実施し、訪問徴収の実施及び口座振替の推進を図り、収納率向上に努めます。

【老人福祉費】

平成二年六月、老人福祉法が改正され、昨年四月から新たに都道府県及び市町村で老人保健福祉計画を定める旨の規定が加えられましたので、本町でも計画書を策定し、来

たるべき高齢化社会へ本格的に対応して行く体制づくりを進めます。

なお、今年度から新たにE型のデイサービス事業を開始し、五年一月から実施しております福祉給食サービス事業の拡大、C型のデイサービス事業、ショートステイ事業、ホームヘルパー派遣事業の充実を図ります。

また、高齢者の生きがい対策として、高齢者のスポーツ活動、生きがいと創造の家を活用した生産創造活動の充実に努めます。

【児童福祉費】

本年度は保育料の改定を行ない、六年四月から適用することになりました。

国の児童措置基準単価の増高を図るため、第三保育所の定員を九十名から六十名に減らし、公立の三保育所定員二百四十名、私立一保育所定員四十五名で措置が必要な乳幼児の保育計画を立て、園児集団生活の中で養護と幼児教育を一体として保育をします。

また保育所特別地域活動事業（高齢者ふれあい招待会）を通じて豊かな人間性を持った子供を育成するよう努めます。

美しい自然環境を

環境衛生

大人から子供まで美しい自然環境で健康な暮らしのできる町を目指し、事業を進めてまいります。

・二次救急医療費運営負担金	1,199千円
・資源ごみ回収補助金	1,975千円
・ガン検診検査等委託料	
一般診検査等委託料	11,202千円
・老人保健特別会計繰出金	47,626千円
・環境衛生施設整備事業	8,000千円
・塵芥処理一部事務組合へ	335,369千円
・し尿処理一部事務組合へ	47,882千円
・診療所特別会計繰出	15,000千円
・健康づくり推進費	1,154千円

【保健衛生総務費】

母子保健事業として母子と乳幼児の定期的な検診・療育相談を実施し、その一環として健やかな乳児を育てるための栄養教室を開き、栄養士による幼児の食生活指導を重点的に行なっています。また、献血推進事業についてもPRに努めます。

【予防費】

予防接種、健康診査、ガン検診などの接種率及び受診率の向上と適正な接種・受診の啓蒙に努め、疾病予防を図ります。なお本年度から高校生以下のインフルエンザについては、任意接種となります。

【環境衛生費】

ごみの不法投棄の監視強化はもろろんのこと、地球にやさしい生活環境を目指し、ゴミの減量化、資源化をより一層進めるため、資源ゴミの回収補助、生ゴミ堆肥化容器の購入補助を前年度に引き続き進めてまいります。

近年、ネコや犬に対する苦情件数が増加の傾向にありますので、保健所と連携して住民への啓蒙、苦情に対する迅速な処理をさらに進めてまいります。

【公害対策費】

公害対策については、特に河川の水質汚濁について監視指導を強化し、河川汚染原因の七十%を占める生活排水の浄化のため、各家庭への啓蒙活動を積極的に進めてまいります。また、定期的な河川の水質調査も、前年度に引き続き行います。

【老人保健費】

本年度も、保健事業として健康診査・教育・相談、訪問指導、機能回復訓練を行ないより一層の町民の健康づくりに努めてまいります。特に、在宅ケアの充実を図るため医学療法士、作業療法士の専門的指導を受け、また、福祉や医療と連携をとりながら地域リハビリテーションの強化に努めます。

医療費の適正化のための事業として、医療費の各個人への通知、レセプト点検の強化を進めてまいります。

【花いっぱい運動費】

「美しいまちづくり」「うるおいと安らぎのある町」を目指し、まず公共施設を中心として春・秋に約四千本の花の植栽を行ってまいります。また、花いっぱい運動のシンボルとなるような場所に、コスモス、菜の花等の植栽を考えております。

【清掃費】

地区衛生組織と連携して町内の一斉清掃を行います。また、近年空き缶の散乱が目立ってまいりましたので、条例制定に伴い、販売業者の協力を得て回収容器設置の徹

底を図っていきます。

佐世保広域圏北部塵芥処理一部事務組合につきましては、新規処理場の建設を平成五年度より用地取得に取り組み、平成七年度の完成を目指しては、今年度は、運営費として四千三百八十一万四千円、建設事業分として二千五百八十九万五千円、交付税分として二億六千五百六十六万円の負担金を計上しております。

【健康づくり費】

昨年に引き続き『歩くことによる健康づくり』を目指しヘルシーウォーク事業を行なっております。

健康づくりの三要素の一つである食の面からの生活指導として、食生活改善委員の協力を得て、各地域において栄養教室を実施します。

情熱をもてる

農業を

―農林水産業―

今日の農業情勢は、昨年の天候不順による不作や相つぐ台風被害により、農業経営意欲の減退を招いています。

また、米の不作に伴い、牛

肉・オレンジに次いで米までも事実上の一部輸入自由化となり、農業経営は極めて厳しい状況にあります。

こうした現状に対応するため、地域農業の再編成を協力を推進し、農業者が情熱を持って取り組める農業体制づくりを推進します。そのためにも、生活環境整備・基盤整備等活性化事業に努めると共に近年の消費者の健康志向・安全志向を背景に有機農産物の推進に努めます。

このようなことから、米消費拡大運動を兼ねて銘柄確立のためのイベントを開催します。また、農業経営基盤強化法に基づく「認定農家」制度を盛り込んだ「基本構想」の策定に取り組みます。

【農業委員会費】

農地法に基づく諸申請の適切な審議のため、毎月委員会を開きます。

今年も引き続き特別栽培米の合鴨農法の推進をはじめ、農家基本台帳の見直し、意向調査を行い、農業振興に寄与すべく努力したいと考えております。調査の分析・検討の集約、農業委員会の部会、組織の見直し、中核農家及び農家経営改善を求める自立農家の育成のための農業簿記帳を勧めていきます。

また、遊休農地の追跡調査を行ない、農地の有効利用について集約をして、これをどのようにするかの方向づけを検討します。

農業後継者の育成については、現在までの成果を見直し若者の中からの意見を取り入れ、広域的な対策を考えていきます。

【水田営農活性化対策事業】

今年度は三ヶ年事業の二年目となり、引き続き水稲作と転作を組み合わせた生産性の高い水田営農の確立、制度別用途別に均衡の取れた米の安定供給を図られるよう本対策を推進します。また、平成五年産米の作柄が予想を越える

低温・長雨・日照不足・台風等により全国的にも未曾有の不作となったことから、その着実な推進を図ってまいります。

【園芸対策】

水稲の補完作物として推進している「みかん・いちご」等を中心として銘柄確立はもとより、面積の拡大、品質の向上を図ります。そのためにも、担い手の育成を基本とした施設栽培の推進、既存作物の強化、新規作物の導入による産地の育成等、関係機関と連携しながら園芸振興を図ってまいります。

【畜産対策】

牛肉輸入自由化対策として生産される肉用子牛の一斉化により、畜産農家の経営の安定と向上を図るため、優れた系統牛への更新事業を実施していますが、本年度は五十三頭の優良系統牛への更新を行ないません。

【基盤整備事業等】

▼県営大新田地区排水対策特別事業については、五年度までにポンプ二基の設置が終わり、六年度に自動除塵機及び電気系統工事が計画され、今

年度後期には稼働する予定です。

▼県営流合地区農免農道整備事業については、今年度は家屋移転が完了後に本格的な工事に着手し、八年度完了を目指します。

▼現在未舗装である道芽木地区農道、浄香谷地区農道について、第二次新農政推進特別対策事業により舗装を行なう予定です。

▼平田ため池の浚渫工事を、土地改良施設維持管理適正化事業で実施します。

▼北松地域国営農地再編パイロット事業につきましては、一市七町の協議会において推進しているところです。計画では、平成五年度から平成七年度までは、各市町の地区調査になっており、本年度も引き続き希望がありました江里市瀬地域、志方地域など五ヶ所、約百五十五ヘクタールを取り込み、平成八年度からの事業実施に向けて農政局、県及び協議会の指導のもと、整備後の営農計画、土地利用再編計画、効果等の調査を進めてまいります。

【鉾害復旧事業】

過去に鉾害復旧を行ない、効用未回復となっている水田

(大新田地区)及び、ため池(大畑・稗田等)の整備として暗渠排水工事、漏水防止工事を国の認可を受けしだい行う予定です。

生活環境・住宅の整備

一 建設

【産炭地域開発就労事業費】

町道真申美渡世越線の改良工事につきましては、産炭地域開発就労事業により平成元年度から継続して施行し、当初は七年度完了の見込みでしたが、他の事業でも実施して六年度で完成したいと考えております。

【土木費】

住民の方々の要望である生活道、住宅、河川、公園の整備等、緊急性の高い箇所を重点的に整備計画をしております。

▼森林整備促進特別緊急対策事業による作業道、野坂線の整備を昨年度に引き続き行うと共に、同事業による人工林の質的な整備(除間伐七ha、枝打一ha)を行います。

【水産業費】

水産業については、佐々川内水面振興協議会に補助を行ない、水産動物資源の保護培養及び、監視体制の強化に努めます。

▼道路橋梁費・河川費・公園整備費

道路の改良舗装、河川、公園、下水路等の整備を補助事業、起債事業及び単独事業により計上しております。



開通が待たれる町道真申美渡世越線

工事をしておりますが、本年度も引き続き二号機、機械電気設備工事(ディーゼル機関他)、場内整備工事を行い、小浦地区の浸水地域解消を図ります。

中部地区まちづくり事業として、昨年度に続き羽須和第一公園整備工事他を計上しております。

▼公営住宅建設事業費

公営住宅の建設については、地域振興に結びつく住宅供給を目的として、本年度は公営住宅等建設事業の用地購入費を計上しております。

心豊かな人づくり

一 教育

生涯学習時代への誤りない対応のため、町民一人ひとりの生涯各期にわたる自発的学習が適切かつ継続的に実践できるよう、町の総合計画、及び町民憲章に基づき、活力ある心豊かな人づくりを推進します。

また、学校教育については
①確かな学力保証
②豊かでたくましい心身の成長保証

③教育環境の整備と開かれた学校づくり
た学校づくり
の努力目標のもと、組織体としての学校の総合力を高めるよう努めていきます。
各項目の主なもの、次のとおりであります。

【教育総務費】

学校教育嘱託員を引き続き委託し、本年度は特に、平戸・松浦・北松三地区の初任者教職員の研究実施主管教育委員会として、研修協議会の運営にあたります。

外国青年招致事業費は、英語指導手により、生徒の語学力向上に努めます。また、

▼交通安全施設等整備事業費

学童の通学の安全確保のため、昨年度に引き続き町道神田線の歩道新設工事(延長三百四十三・五m幅員二m)を行います。

▼都市計画事業費

小浦都市下水路の整備については、前年度二号機のポンプ設置のため、ポンプ場の土木建築工事及び機械電気

交通安全施設等整備事業	47,000千円
急傾斜地崩壊対策事業	10,000千円
小浦都市下水路整備事業	180,000千円
地域住宅計画策定事業	10,200千円
中部地区まちづくり事業	105,000千円
道路台帳補正整備委託料	1,600千円
町道改良舗装工事	103,200千円
町道維持補修事業	17,102千円
下水路整備事業	1,300千円
公営住宅改修工事他	20,000千円
公営住宅等建設事業	341,000千円
町道真申美渡世越線道路改良事業	40,983千円
5年災公共土木施設災害復旧事業	103,115千円

児童が外国語に馴染むよう両小学校にも派遣します。

【小学校費】

平成五年度に文部省から、「学校図書館図書整備新五ヶ年計画」が策定されたのを受け、「佐々町学校図書館図書整備計画」をたて、年次的に充実を図ります。

佐々小学校については、大規模改造事業により校舎等の整備を計画しています。

口石小学校については、運動場フェンス等の改修を行います。

【中学校費】

「求めて学ぶ生徒の育成」をめざし、学力の充実はもと

より、文化面・スポーツ面の更なる向上に努めます。

【幼稚園費】

自分からすすんでものごとに取り組む子どもづくりを目標の第一に掲げ、遊びの中に人間形成の基礎を培う幼稚園教育推進に要する経費を計上しております。

本年度は、五才児一学級三十八名、四才児二学級四十一名で運営いたします。

【社会教育費】

活力ある地域づくりを目指し、青年会の育成と町内の婦人団体組織強化を図るため、青年リーダー育成補助金、婦人団体関係補助金を計上いた

・教育委員会費	1,305千円
・事務局費	35,397千円
・外国青年招致事業	4,872千円
・小学校費	73,646千円
・佐々小大規模改造事業	26,472千円
・中学校費	48,568千円
・幼稚園費	25,794千円
・社会教育総務費	34,834千円
・少年健全育成事業費	2,575千円
・文化財費	712千円
・公民館費	20,476千円
・文化会館費	14,109千円
・芸術文化事業費	1,900千円
・保健体育総務費	5,681千円
・体育施設費	7,502千円
・体育振興事業費	1,900千円

また、生涯学習充実のための推進事業として、町民一人ひとりがそれぞれの生活形態に応じ「いつでも、どこでもだれとでも」学び合う社会づくりを目指し、各種講演会、教室等を開くための補助金や講師謝金を計上しました。

少年健全育成事業については、健全育成会、町内子ども会との連携を保ち、情報の提供をはじめ、子ども会のリーダーの養成等に努め、非行防止活動の強化を図ります。

また、多数の住民の参加を得て開催される「さざ子どもフェスティバル」の更なる充実に努めます。

【文化財費】
住民が日常的に佐々町の歴史と歩みや遺産等を研修できるように環境づくりをすると共に、その啓蒙に努めます。

【公民館費】
知識を広めて学び合う社会づくりの推進を図るため、各種学習講座を開きます。

▼公民館グループとして「学びあい・高めあい・ふれあい」を深め合うため、約三十グループの活動を育成します。

▼生涯学習の拠点となる、町

内会公民館の活動が一層充実されるよう、町内会公民館へ運営費の補助を行います。

【保健体育費】
▼各種スポーツ大会等の開催補助及び町体育協会や郡民体育大会、県民体育大会等の出場者に補助を行い、スポーツの振興と健康の増進に努めます。

▼北部プール建設については神田プール移転に関わる国の補償決定後、補正にて計上をしたいと考えております。

▼体育振興事業費については体育振興基金を活用し、国内の一流の指導者並びに選手を招き、技術講習会の開催及び選手派遣事業を行い、競技力の向上並びにスポーツ人口の底辺拡大に努めます。

【勤労青少年ホーム費】
勤労青少年の福祉の増進と健全な育成に寄与するため、講座の開設と自主クラブの育成、活動の充実を図っていきます。

【学童農園管理費】
施設の維持管理及び事業の充実に努め、学童農園の利用率向上を図ります。

地方債による事業

(単位：千円)

起債の目的	限度額(千円)	起債の目的	限度額(千円)
町道真中美渡世越線道路改良工事	4,100	公共下水道整備事業	194,400
水田農業確立排水対策特別事業	6,300	中部地区まちづくり事業	78,700
佐々西部自然公園整備事業	172,500	公営住宅建設事業	289,800
交通安全施設等整備事業	15,800	消防施設等整備事業	8,000
町道真中美渡世越線舗装工事	28,500	佐々小学校大規模改造事業	18,700
町道正興寺橋線改良工事	19,000	5年災河川等災害復旧事業	30,200
小浦都市下水路整備事業	32,400		

公債費については、今後も引き続き健全な財政運営を行うよう努めます。

特別会計

国民健康保険

加入者の高齢化や診療報酬改定が予定されるなど、国保制度を取り巻く環境は依然として厳しい状況にあり、保険給付への影響も見込まれますが、給付の適正化及び収納率の向上等、収支両面にわたる経営努力を一層進めてまいります。

【歳入】

保険税は、所得、固定資産税の確定後に算定するため、国庫支出金、医療給付費交付金等は過去三ヶ年の医療費の実績により算定し、収支のバランスをとっています。

【歳出】

保険給付費については診療報酬の引上げ等が予定され、過去三ヶ年間の医療費の動向により計上。老人保険拠出金については平成四年度の確定医療費拠出金で算定し、一億

五千七百十万五千円を計上いたしました。

保健施設費については本年度から国の補助金が終わったのに伴い、財政調整基金の果実を利用して被保険者の健康保持増進のため人間ドック、脳ドックを継続事業とし、更に、従来実施しておりました健康教育につきましては、ひとり暮らし老人健康相談に加えて夜間の健康教育相談を計画し、各町内会へ出向いて地域に密着した健康づくりを進めていきます。

診療所

近隣医療機関との診療科目の競合や患者の大病院志向等による影響は大きく、診療収入も減少傾向にあり、運営は依然厳しい状況にあります。

このような中、患者数の増加につながるよう、より一層のサービスに努め、収入を確保し、経費の節減に努めるとともに、公立の診療所として地域住民の健康を守るため、一般診療をはじめ各種検診や健康教育などの保健活動にも力を入れ、健全な運営が出来るよう努力いたします。また、在宅福祉を重視し、

訪問看護や在宅リハビリなど積極的に実施して、福祉医療の中核となるよう方策を検討してまいります。

【歳入】

医療費の改定により、診療報酬が四月に三・三％、十月には一・五％とそれぞれ引き上げられ、同時に薬価が四月に二・一％引き下げられるため、実質二・七％程度の引き上げが見込まれます。

【歳出】

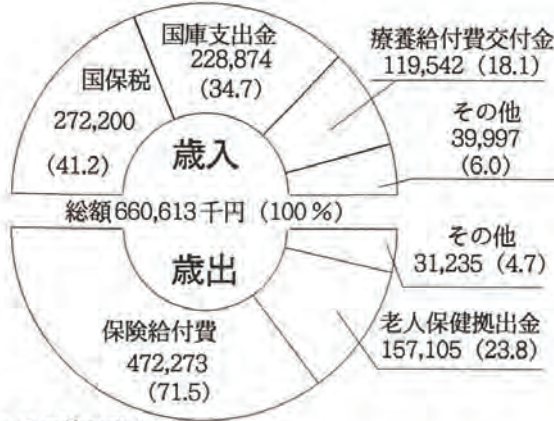
診療収入については、入院患者一日平均八・五人(年間延三千二百一人、一人一日平均収入六千八百三十円)外来患者一日平均七十五人(年間延二万二千二百二十五人、一人一日平均収入四千五百八十円)を見込み、一億二千二百四十六万円を計上いたしました。

また、薬品材料費四千二十万円をはじめ、その他の経費予備費等を含め、歳出合計一億四千三百九十六万三千円を計上致しました。

単位：千円()内%

・その他の内訳

繰入金	31,400	使用料及び手数料	226
共同事業交付金	4,366	財産収入	2,468
諸収入	1,535	繰越金	2



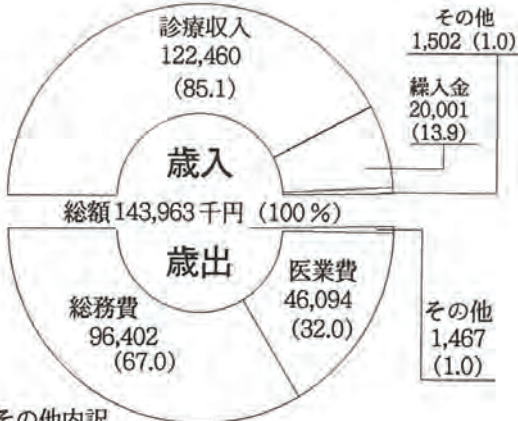
・その他の内訳

総務費	6,395	共同事業拠出金	5,019
予備費	9,074	諸支出金	990
保健施設費	7,289	積立金	2,468

単位：千円()内%

・その他内訳

諸収入	740	財産収入	10
使用料及び手数料	751	繰越金	1

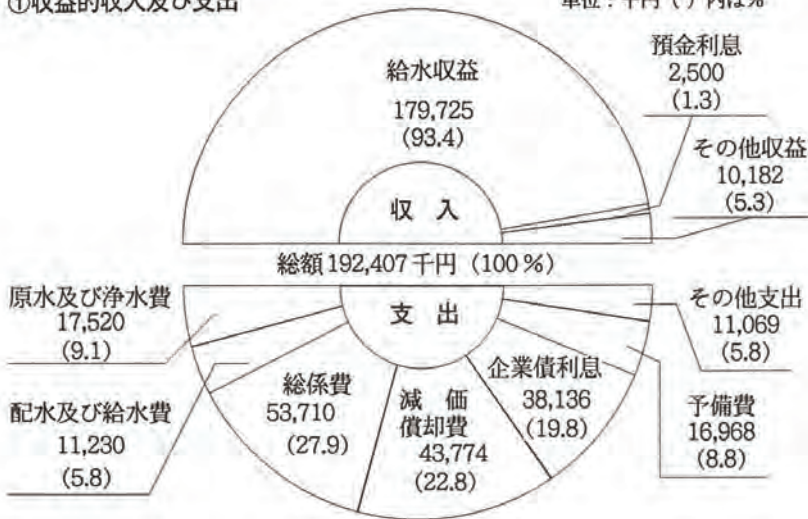


・その他内訳

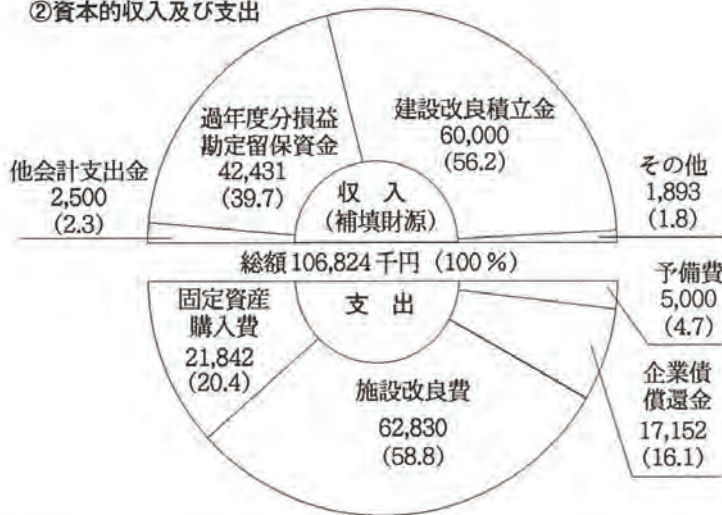
予備費	1,292
公債費	165
基金積立金	10

①収益的収入及び支出

単位：千円（）内は%



②資本的収入及び支出



水道事業

本年度は、経営の基本原則を踏まえて経済的かつ効率的な運営を行い、健全財政を維持しながら多様化するニーズに対応し、「安全でおいしい水を安定して供給すること」を目標に編成しました。

このため、事務の改善等を推進して経費の節減に努める

とともに、年次計画を進めております老朽配水管の取替工事（平成七年度完了予定）を実施し、有収率の向上を図ります。

業務の予定量は、年間総配水量を前年度より四・七%増の百四十一万四千㎡、有収水量を百十三万一千㎡（有収率八十%）を見込み、給水を行う予定です。

公共下水道事業

平成四年度に着手した管渠工事は既に四千八百九十一mを布設。平成六年度は小浦、里山、中央通地区に四千八百三十mを計画し、第一期計画分の四十四%に達する予定です。また、本年度から下水道事業団に委託して、九年度供用開始に向けて終末処理場の本工事に着工します。

その他、大新田中継ポンプ場実施設計委託、管渠実施設計委託等を計画し、補助事業

老人保健

本年度の医療費は、四年度及び五年度の医療費と医療給付の推移を勘案し、五%の伸びを予定して九億五千二百二十万七千円を計上しました。

内訳は、医療給付費八億八千八百四十七万七千円、医療費支給額千四百六十万円、審査支払手数料二百十五万円。そのための財源は、国庫負担金一億九千五百万円、県負担金四千七百六十二万六千円、町負担金四千七百六十二万六千円となっております。

土地取得

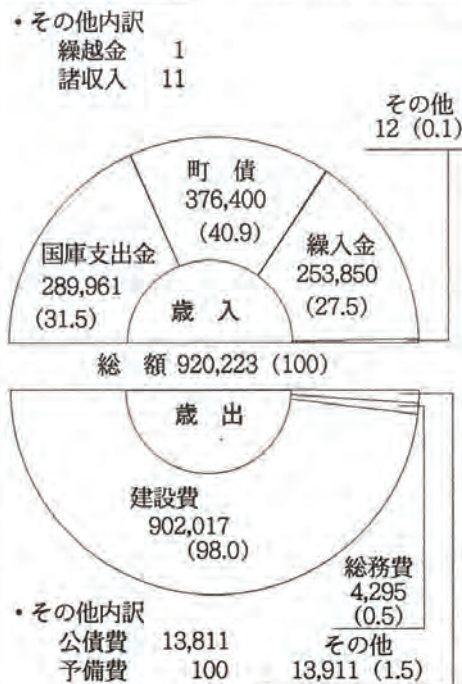
旧干拓地の用地取得費三千二百二十一万円、起債償還金二千四百二十九万円（元金千六百五十八万二千円、利子七百七十八万八千円）で歳出合計は五千六百五十五万円となり、一般会計繰入金二千四百二十九万八千円、公共用地先行取得等事業債三千二百二十万円を充当し計上しています。

工場団地造成事業

工場団地の維持管理経費四十万二千円及び起債利子償還金千八百九万八千円を一般会計からの繰入金により計上しています。

下水道事業会計

単位：千円（）内は%



七億六千四百四十万円、単独事業一億五千万円、その他八百八十二万三千円、事業費合計

で前年比一一・五、六%増の九億二千二十二万三千円を計上しています。

佐々町組織・職員名一覧表

◎印は係長・主任 ○印は主査 (兼)は兼務 (嘱)は嘱託 (委)は委託

平成6年4月1日付

□は4月1日付異動者

町長 清原 恵一郎	助役 小田 村 進	収入役 松永 弘夫	企画課	課長 大瀬 康政 補佐 松田 政喜	企画調整係 ◎木原山 龍文・○川内野 勉 企画振興係 ◎永安 文男・川崎 留美 商工統計係 ◎松田 弘海・江田 幸治
			総務課	課長 森田 迪夫 補佐 山本 邦夫	総務係 ◎中村 正一・○大瀬 裕子・大瀬 三郎・(兼)安達 伸男 (電交委)井上 明子・川瀬 幸代(県研修へ)今道 晋次 財務管財係 ◎ (兼) 山本 邦夫・松本 孝雄・(嘱)松田 吉光・萩田 憲一 広報防災係 ◎三好 邦彦
			税務課	課長 宮村 昭彦 参事 洲上 勝利	町民税係 ◎川上 一郎・藤永 尊生 固定資産税係 ◎谷添 正人・○内田 明文 納税係 ◎ (兼) 洲上 勝利・大平 弘明 地籍管理係 ◎濱野 互
			生活課	課長 佐藤 勝広 参事 森田 稔 補佐 大久保アツ子	住民係 (総合受付担当) ◎古野 英幸・北村 葉子 福祉係 ◎内野 晴美・藤永 大治
			保健課	課長 永井 良一 補佐 前川 隆行	環境衛生係 ◎岡本 省三・山本 勝憲 国保年金係 ◎築城 律子・○嶋崎 和幸・阿部 豊 健康づくり係 ◎ (兼) 前川 隆行・○平杉 直美(保健婦)・徳田 佳子(保健婦)
			農林課	課長 黒石 正毅 補佐 西嶋 敏彦	庶務係 ◎大瀬 忠昭・金子 剛 農政係 ◎須藤 敏規・水本 淳一・川崎 順二 耕地係 ◎浜田 能久
			建設課	課長 小岸 元清 補佐 山下 義則 補佐 古庄 剛	管理係 ◎ (兼) 古庄 剛・○富田 広司 建設係 ◎北村 英彦・筒井 勝・山村 輝明 維持係 ◎北村伸太郎・小村 登・橋本 義雄 住宅管理係 ◎北川 敏夫
			保育所	第1保育所長 佐々木テル子 第2保育所長 上野 増子 第3保育所長 上滝 美子	第1保育所 ○門田 清子・○池田八恵子・○末永ユウ子・富田 真弓・寺田八代子・浦川 幸枝 第2保育所 ○松永 温子・○岡本 道代・○堤 富実代・志水みどり・福田 昭代 第3保育所 ○浦田佐美子・○西牟田文子・氏田恵美子・宮島真知代
			水道課	課長 (兼)永松 武幸 補佐 吉良 忠男 補佐 菅 幸男	業務係 (兼)菅 幸男 施設係 ◎松本 康弘・横田 孝之・大石 俊一
			下水道推進室	室長 永松 武幸 補佐 山口 澄夫	庶務係 ◎中村 義治 計画係 ◎前田 多聞
			参事	野田 八郎	出納係 ◎村上千鶴子・指定金融機関派遣職員

診療所長 原田達郎 事務長 (兼)永井 良一・◎大浦 富夫・吉田 節子
看護婦長 橋口 正子・◎宮崎 勝子・田島佐和子・横田 絹子・丸田 文江・松本 智子

佐々町教育委員会
教育長 清水 浩 次長 中田満寿雄
参事 松田 征男

総務係 ◎横田 憲治・○山口 一子
学校教育係 ◎ (兼) 横田 憲治・○ (兼) 山口 一子・(嘱) 田口 春美
佐々中学校 坂本美代子・山内 輝美・(委) 松野ひとみ
口石小学校 森田 利子・池田きみえ・(委) 出端 朝子
佐々小学校 小林 洋子・(委) 福田 広子
佐々幼稚園 (園長) 十時 淳・○山高ミドリ・○柴山 政江
社会教育係 ◎鴛淵 育雄・(嘱) 佐藤 健次・(嘱) 今泉 米子
社会体育係 ◎山本 健一

議事局 事務局長 山下 裕康・○田島 須美・力竹 哲也
農業委員会 事務局長 野田 龍夫・◎中村 正己
監査事務局 書記 (兼) 中村 正一・書記補 (兼) 安達 伸男
選挙管理委員会 書記長 (兼) 森田 迪夫・書記長補佐 (兼) 山本 邦夫・書記 (兼) 中村 正一・書記補 安達 伸男
公民館 館長 (嘱) 天島 良夫・(兼) 鴛淵 育雄・管理人(委) 福本 徳一・福本アイ子
資料館図書室管理員 (委) 山科 郁子
勤労青少年ホーム 館長 (兼) 中田満寿雄・指導員 (委) 浜村 秀男
文化会館 館長 (兼) 清水 浩・管理員 (臨) 志水 善三
文学児童園 園長 (委) 作元 昭人・(委) 川内 誠一・(委) 浦川 学・浦川ヤスエ

佐世保広域圏北部塵芥処理一部事務組合
管理者 (佐々町長) 清原 恵一郎 事務局長 横尾章二郎・工場長 井村 操・辻 重徳・山藤 健一・前川 利一・林 泰亘